

JR久留里線（久留里・上総亀山間）の現状等に係る住民説明会 概要

1 開催概要

地 区	開催日時・開催場所	参加者
亀 山	令和5年6月1日（木）午後6時30分から午後8時35分頃 亀山コミュニティセンター 大会議室	68名
松 丘	令和5年7月12日（水）午後6時30分から午後8時25分頃 松丘コミュニティセンター 大会議室	81名
久留里	令和5年7月15日（土）午後2時30分から午後4時40分頃 上総地域行政センター 多目的ホール	71名

2 内 容

(1) 検討会議の設立趣旨及び第1回検討会議の結果概要等

- ・千葉県から、検討会議の設立趣旨及び、会議の中で、住民代表から要望があったことを受け、住民説明会の開催が決定したことを説明。
- ・藤井特任教授から、第1回検討会議の結果概要等及び、今後、会議において久留里線（久留里・上総亀山間）の沿線地域の交通のあり方を検討していくとの方向性で合意したことを説明。

(2) JR久留里線（久留里・上総亀山間）の現状等

- ・JR東日本千葉支社から、久留里線の現状と課題について説明。

(3) 質疑応答、意見交換

- ・別紙「資料2_住民説明会意見一覧」のとおり

3 出席者

- ・千葉県 総合企画部次長 横山 尚典
- ・君津市 企画政策部長 鈴木 広夫
- ・東日本旅客鉄道株式会社千葉支社 企画総務部企画部長 森原 大輔
- ・JR久留里線（久留里・上総亀山間）沿線地域交通検討会議座長 藤井 敬宏（日本大学理工学部交通システム工学科特任教授）

①久留里線の運行に関する意見

- ◆ 昼間の時間帯における久留里と上総亀山間の運行は、5 時間以上も運行がないため、利用しにくい。運行本数を増やしてもらいたい。
- ◆ 使いたいと思っても使いにくい状況。亀山までの便数が激減した。亀山でイベントがあっても列車のダイヤがなくて行くことが出来ない。
- ◆ イベントがあったとしても、臨時列車などの足がないと行きたいと思えない。
- ◆ J R 資料まとめの中に、「久留里～亀山間 55 人…鉄道の特徴を十分に発揮できていない、公共交通を持続可能なものとして～交通体系のあり方を検討していきたい」、と書いてあるが、J R は公共交通という認識が薄れていると思う。J R が企画するイベント列車は久留里まで。これでは、久留里亀山間の収入は増えない。亀山まで通すということをやっていただきたい。
- ◆ 増収策の提案。久留里線全駅で S u i c a を使えるようにするには、莫大な費用が掛かると思うので、自動券売機がある久留里駅と横田駅で S u i c a のチャージができるようにしてほしい。久留里線の収入が確保できるようにしてほしい。
- ◆ 今から 10 年前、高校を卒業するまで久留里線を使っていたが、その時点で、清和地区は公共交通（三島地区には鉄道などが無く）の利便性が悪く、高校の選択肢が私立のスクールバスか原付で通えるところ、と友人から聞いていた。
- ◆ 2014 年から、久留里～上総亀山間の運行本数が減った。それ以前も、授業が昼に終わっても家に帰れるのは午後 4 時過ぎだったが、さらに減っては、高校の選択肢が狭まってしまうのではとの心配があった。利用者がいないというのは、本数が少なく、乗ろうと思っても乗れないからという現状がある。
- ◆ 以前、ワクチン接種のとき、久留里までタクシーで行き、高額な出費となった。利用したい人のことを考えて、公共交通機関としての役割をきちんと果たしてほしい。車がない人、高齢者が増えていく中で、買い物・通院に困る。
- ◆ 廃止するにしても、代替交通手段を適切に考慮していただかないと困る。
- ◆ 久留里線の利用者減少は、モータリゼーションの進展だけでなく、本数が少なく利用したくても利用できない状況がある。始発を早める、終電を遅くする、久留里止まりでなく亀山まで運行するなど、利用しやすくしてほしい。
- ◆ 約 30 年前、中高生の親たちは部活をすると、久留里止まりの列車しかなくなってしまったため、部活をすることができない子どもがいたと話していた。J R に要望を出したら、その時間の対応はできないと言われた。
- ◆ 利用者が減った原因を考えないといけない（利用したくてもできない人がいた）。人口は確かに減っているが、時間が合わず、久留里まで送り迎えをしている親がたくさんいたということも考慮してほしい。
- ◆ 久留里止まりで非常に困っていた。利用しなかった理由を突き詰めないといけない。

- ◆ 4月に亀山でイベントを開催したが、久留里止まりだったため、来場できない人がいた。運行時間をもっと考慮してもらえたら、より活性化していたと思う。
- ◆ 亀山、松丘地区は広範な面積を持つ。子どもたちを個別に送迎すると、久留里からの列車に間に合わないことがある。
- ◆ ワンマン運行、5時間の運行間隔がある。
- ◆ プロレス列車もサイクルトレインも久留里までで亀山まで来ない。
- ◆ 大量輸送のメリットとは、利便性の向上とは。一人でも乗っていたらありがたいのでは?なぜ、赤字の責任を住民が負わなくてはならないのか。
- ◆ 利便性の向上と言っているが、そもそも本数が少ない。まずは5時間も空いているのを何とかすべきではないか。本数を増やしたり、大多喜まで延伸したりするのが利便性の向上である。
- ◆ 定期代もJRの学生定期はとても安い。雪の日も列車なら走ってくれる。
- ◆ 免許返納した。鉄道は時間が正確。
- ◆ Suicaを使えるようにしてほしい。
- ◆ 物価等値上げが続いているが、高速バスより鉄道の方が安く都内に行ける。
- ◆ 鉄道の移動の方がバスよりも快適である。
- ◆ 私鉄と比べ久留里線の線路は非常に状態が良いので、使わないのはもったいない。

②久留里線の利用促進に関する意見

- ◆ カートレインという考え方があるため、JRで車を販売してみても。JRが(車を)売れば、その車は列車に載せられる仕様にできる。駅に行くまで、鉄道に乗った後が大変だと思うから、二次交通を考えるために活用できるのでは。
- ◆ 久留里～上総亀山間の各駅を拠点にして、スクールバスの空き時間活用した二次交通として使えないか。
- ◆ 馬来田、東横田にもそれぞれ素晴らしい観光資源がある。季節を通じてイベントを計画していただければ。
- ◆ 車両の中に自転車を乗せられるスペースを作ってほしい。できないと言う前に、コストや労力などについて、提示をしてほしい。具体的に説明してくれたら、考えようがある。
- ◆ 昨年(令和4年)度、JRの企画で、古代史の講演会をやった。久留里線沿線には、こういった伝説も含めた観光資源がある。
- ◆ JRが真剣になって、沿線市にも呼び掛けて、観光として、他から人を呼び込む施策をしてほしい。
- ◆ 久留里線は、木更津と大原を結ぶ木原線の構想もあったが、事情により(今の)久留里線となった。その構想のように、亀山から大原方面へのサイクルツーリズムのルートを考えるのもよいのではないかと思う。

- ◆ 地域にある様々な団体の中で、久留里線を使ってみる。JRからも地域に働きかけてみるといったことが必要ではないか。
- ◆ JRの収入がどうかではなく、廃止が決まっているわけではなく、これから議論していくのだから、JRにはたくさんある観光資源をどう活用するかを考える必要がある。そうすれば、収支改善もするのではないか。一過的なものではなく、有機的に結びつける必要があるのではないか、考えてもらいたい。
- ◆ 久留里線の利用促進と活性化に向け、亀山地区でトキの放鳥をしたいと思っており、6/25(日)午後2時~4時トキの講演会を行うので、皆さんに来てもらいたい。
- ◆ 6/25(日)にトキの講演会をやった。2021年の新聞にトキの記事があり、繁殖場所を公募するというもの。これを亀山にできれば、駅前を活性化させることができ、久留里線の利用促進につながる。君津市、県にも勉強してほしい。
- ◆ 久留里は十分街歩きができる。松丘、平山、亀山も魅力がある。
- ◆ だいぶ前に久留里駅に腕木式信号があったり、タブレットがあった。何でもかんでも新しくなるというのは、いただけない。そういうものを求めてやってくる鉄道ファンがいる。
- ◆ 郷愁、魅力なくなってしまった…何か魅力もあるものは残してほしい。
- ◆ 亀山ダム等観光施設を活用し、県外などから人を呼び込む際に久留里線を使ってもらうようにするなど、営業収入の回復のための努力をしてほしい。
- ◆ 観光面について、はとバスやクラブツーリズムで観光バスのルートに久留里線を組み入れてもらうような取組をJRや久留里線活性化協議会でできないか。
- ◆ 亀山少年自然の家などの施設において、久留里線での利用者に割引などの助成ができないか。
- ◆ 高速バスは久留里線の接続はしてもらえるのか。
- ◆ 小湊鉄道はイベント等で集客している。久留里線も先日のお酒のイベント列車は好評だったと聞いている。観光地はたくさんあるので、魅力発信に取り組んでほしい。
- ◆ これまでイベント等を実施してきたとのことだが、社内での評価、今後の計画、どのくらい利用者は増えたのか。単発で終わりなのか。
- ◆ 久留里線の旧車両(キハ30)は貴重な観光資源になったのではないか。
- ◆ 久留里はレトロな街並み、亀山はダムなど観光資源がある。小櫃駅にあるSLを走らせるなど様々な方策があったのではないか。

③ 地域振興に関する意見

- ◆ これは交通体系の話ではなく、人口減少をいかにくい止めて、地域を活性化させるのか。20年後を見据えて、どう地域づくりをするか、都会の人をどう取り込むか、ということだと思う。

- ◆ SDGsをこの地域にどう具体化していくか、戦争、異常気象にも耐える地域をどう作るかという観点的大事。10代20代の人がこの地域に誇りをもって暮らしていけるような展望を。そのためには、第一次産業など地域の地場産業の復活強化に取り組む、そのうえで、観光の面の話が出てくる。
- ◆ JRは沿線地域の発展に貢献したいと言っているので、県、市と協力して、過疎の地域を希望が持てるような地域にしてほしい。そのような計画には我々も参画する。プラス思考で考えてほしい。
- ◆ この地区に人が来るという観点で考えては。久留里線だけで見ないで、視野を広げてほしい。
- ◆ 久留里線は短いが、県跨ぎの交通手段の中で、新しい交通体系になると考えられる。新しい考え方で公共交通機関としていただけると、住む人が増え、地元の活性化につながる。
- ◆ 観光地として発展してほしい。君津市都市計画マスタープランの中にJR久留里線、内房線は、かけがえのない公共交通として柱としているので、尊重してほしい。
- ◆ 住民の幸せをつくるのが地方自治体の役割。三方よしの精神で。
- ◆ 地域住民も草刈りなどで、しっかりと実動協力をするべき。
- ◆ 外から来た人に不親切。二度と来ないという人がいる。地域にいいところ、魅力があっても享受できない。それは車ありきの社会だから。これから車に乗れなくなる人のことも考えてほしい。
- ◆ 過疎化が進んでいるのは、国の問題もあると思う。過疎化対策のためにも必要。
- ◆ 昨年(令和4年)の千葉日報での石井市長のコメント、活性化の取組を推進していくと言っている。
- ◆ 久留里線開業110周年の冊子に「久留里線の恩恵は地域にとって計り知れないものがある」とコメントが掲載されている。
- ◆ 上総松丘駅の周辺の草刈りなど、環境美化活動をしている。自治会長も協力して、年に2回、草刈りをしている。
- ◆ アクアレールという構想があった。もしできたら、(地域も)発展するのではと思っていた。
- ◆ 企業誘致により、雇用の創出・増加、人口減少の対策をとってほしい。
- ◆ 人口流出、過疎化という社会情勢のなかで、久留里線の利用者も減少しているので、特別支援学校があるように、久留里線にも特別な支援をお願いしたい。
- ◆ 県と市には、人口減少が進捗する中で、地域を活性化させる取組をJRと一緒にやってほしい。
- ◆ 鉄道の持つ意味、なくなったら悲しい。希望を持たせる政策をしてほしい。
- ◆ 空き家もあるが、転入者もいる。若い人もいる。
- ◆ 学校がなくなり、鉄道がなくなったら地域が廃れていく。ぜひ残してほしい。

- ◆ 観光の視点から、J Rと連携した取組みをしている。鉄道が通っていない観光地に客が来るのかという心配がある。
- ◆ 人口減少による利用者減少のほかに私立高校が送迎バスを運行していることも地域の足を壊す要因になっているのではないか。また、人口減少は以前から想定できたのに、なぜ対策を講じなかったのか。
- ◆ 久留里駅ロータリー改修、交流センター建設は、利用者のことを考えていないのではないか。綺麗に整備したことにより、かえって使い勝手が悪くなっているのではないか。駅反対のロータリーはどうするのか。
- ◆ 地域の将来像が見えない中で、自動車の自動運転などが実用化されない限り、公共交通の確保は久留里線だけの問題とは言えないと思う。

④ 久留里線に対する要望や質問

- ◆ 総合交通体系の見直しとは、具体的な選択肢は。B R Tやデマンド交通があると思うが、地域の足として考えたときに、結局利用者がいなくなるのであれば、車以外の移動の方も多くいると思うので、機能として、鉄道という選択肢も考えてほしい。その際に、営業係数の見直しという考え方もいかがか。全国的に鉄道の議論が始まっている中で、鉄道がただ単に、「人を運ぶ」という観点で存廃の議論になっていると思う。一方で、首都圏では、エキュートやディラなど他の事業との連携で事業を成り立たせている。鉄道事業に限らず事業をしていると思うので、地方でも、そういった鉄道事業以外の係数の考えを導入しては。
- ◆ 行政が一体となって、例えば、キッチンカーを呼び込んで土地の使用料を収入にするなど、経費を下げるための施策も協力してみては。
- ◆ 久留里線に乗ってもらう努力をしたのかどうか。大災害のことも考えたらこの地域は大事。黒字の部分を回せばよい。
- ◆ いろいろな要望があるが、それぞれ、どのくらいの経費がかかるのか見えていない。
- ◆ 国鉄分割民営化の際の大臣の約束を守らないのか、なぜ廃線するのか。
- ◆ 営業努力といったが、J Rは何もやっていない。もっと便利にするために何をやってきたのか。不便にただけ。公共性を忘れて、儲けだけしか考えていない。
- ◆ 久留里線の収入の考え方。距離に応じて比例配分は実情に合っていないのでは。
- ◆ 細かく計算できるのか、赤字幅はどう計算しているのか。明細もない。(納得できない。)
- ◆ J Rには明るい話をしてほしい。リニアのような。また時間を空けて集まってほしい。次回は、東京湾アクアラインに鉄道を通すという話題で。
- ◆ 千葉支社へ(の質問)、久留里線(木更津～上総亀山の全線で)の営業係数はいくらか。
- ◆ J Rが久留里～上総亀山間の申入れをしたのは、君津市とだけ話し合えばよい(関係者が少ない方が議論は簡単では)という意図からではないかと思ってしまう。

- ◆ 分割民営化の際の国との約束(ローカル線の廃止はしない)を果たしてほしい。
- ◆ 銚子電鉄開業100周年のお祭りをやっている。社長のあいさつ、「ローカル鉄道をめぐる環境は年々厳しくなっているが、逆境に負けずに地域への恩返しをしていきたい。この街に銚電があってよかったと言ってもらえるよう、社員一同頑張っていく。」
- ◆ もう一度、過去を見つめ直して、営業努力・利用促進をしてほしい。意識してほしい。
- ◆ 久留里線の乗車運賃を木更津駅で精算すると全て内房線の収入になると聞いた。定期なども久留里線の駅で買えば久留里線の収入になるが、無人駅ばかりにしているのではないか。
- ◆ 通勤のために定期を買った。久留里駅で聞いたら、どこで買っても変わらないと言われたため、会計上はどんぶり勘定だと思う。私鉄との乗り継ぎも、だれがどこで乗っていくら払っているかわからないため、どんぶり勘定だと聞いている。久留里線はかなりどんぶり勘定ではないかと思う。
- ◆ JRの営業収支について、内房線のワンマン列車は、久留里線のように運賃箱が設けられていない。回収されなかったきっぷはどの路線の収入になるかわからないのではないか。そのような状況の中では久留里線の営業収支は出せないのではないか。
- ◆ 地域が駅舎の管理や、沿線の草刈りを行えば、JRの経費削減になるのではないか。
- ◆ 亀山での説明会では、久留里線を残してほしいという意見が大多数であった。
- ◆ 久留里線と他の路線を継続して利用した場合に、久留里線の収益はどのように計算されるのか。収支の明細が示されていない
- ◆ 皆さんの意見としては、存続してもらいたい、このまま廃止はない、だから何とかしてもらいたいというものだと思う。
- ◆ 久留里線は100円稼ぐのに19,000円も経費がかかるとのことだが、ほかの交通機関と、比較してそれで果たして妥当なのか。それを考えるために久留里線の現状をわかりやすく丁寧に説明してほしい。
- ◆ 久留里線の存続を求める立場から意見する。小学校2年生の孫がいる。将来、高校に通うときに久留里線が必要になる。車を利用できない方のために必要。
- ◆ ぜひ継続運転をしていただきたい。1月から4月まで署名を集め、JR千葉支社に提出した。(JRから)返事はもらっていない。久留里亀山間の廃線はやめてほしい。
- ◆ 久留里線は必要不可欠。JRは(久留里線を)守る責務がある。
- ◆ 鉄道は公共性が強いもの。鉄道を守ってきた文化や背景を考えてほしい。
- ◆ 個人的に利用状況の調査をした。(久留里線は)観光列車の意味合いが強い。ぜひ残してほしい。
- ◆ 代替交通がバスだとすると、バスはいつなくなるかわからない。
- ◆ 学生のために残してほしい。
- ◆ 久留里線は久留里亀山間ではなくて、(JR東日本)全体で考えるべき。配当もあるのだから、もっと頑張してほしい。

- ◆ JRが直接所有しているのは、鉄道施設のみだと思うが、費用(経費)の内訳は。
- ◆ 上下分離の場合の費用は。
- ◆ JR東日本全体は黒字。赤字路線はあると思うが、民営化した際に、(JR東日本)全体で支えていくと約束しているはず。
- ◆ JRはまず、国ときちんと話し合っしてほしい。
- ◆ 久留里線の収支に驚いている。なぜ赤字なのか内訳を教えてください。
- ◆ 子どもが利用している。1日55人という数字について、列車の本数が少なく、久留里まで送迎をすることがある。そうすると、本来は久留里線を使っていたかもしれない正確な人数は出ないと思う。久留里亀山間の人数は、親が送迎している人数は入っていない。
- ◆ (JRの説明の中で)利用者人数のことを言っていたが、なぜ減っていったのかという理由は言っていない。
- ◆ JRは営業努力をしていると言っていたが、コストダウンのためのもの。
- ◆ JR東日本としては黒字なのだから、それを赤字に回せばいい。
- ◆ インフラの一つだと思うので、なくしてはいけない。JR東日本は、もっと国と議論すべき。
- ◆ 署名活動をしている中で、地域の人は、久留里線を残してほしいと願っていることを肌で感じた。
- ◆ 亀山ダムの重要性の話。ダムと鉄道の関連性がある。
- ◆ 県と沿線市でJRに支援して。鉄道も大事なインフラ。敷いておいた方がいい。
- ◆ 以前から赤字路線なので、廃線の可能性が言われていたが、この間、努力はしてきたのか。経費削減のための運行内容変更は、ある程度まではやむを得ないが、最近の変更は経費削減のためだけとは思えず、利用者いじめになっているように思う。
- ◆ 交換方法の変更、ワンマン車両、久留里駅交換の待合せ時間の増加、久留里止まりのための乗り換え、上総亀山行の本数削減等は経費削減につながったのか。
- ◆ また、最近久留里駅の上りホームが改修されたが、本当に効率化を図るなら、ダイヤの組み方、施設の整備方法等すべきことがあったのではないか。
- ◆ 今回、経費が取りざたされているが、根拠が不透明で信用できない。車両入替や信号システム構築、線路補修費、木更津駅の軽油流出対策費、久留里駅ホーム改修費等はカウントされているのか。ハード面にお金をかけているが、経費を増大させるためとしか考えられない。
- ◆ 赤字なのになぜ、新車両に交換したのか。また、導入するにしても最新のモーター駆動車にしなかったのか。
- ◆ 久留里線の運行について、社内でも実態を知らない人が決めているのではないか。

⑤ その他

- ◆ 青葉高校は危機的な状況になる。いかにして地域に根差した学校をつくるか。
- ◆ 全国で留学制度をやっている。千葉県教育委員会はこれをやらない。推進してほしい。
- ◆ 検討会議に地域住民の声をできるだけ反映させてほしいので、検討会議の委員の中に久留里線と地域を守る会から1～2名ほど入れてほしい。
- ◆ 市民団体から委員に加えられた例。木更津市水道水源保護問題協議会→水道水源保護条例が制定された、その前段の会議体。(水を守る会から)
- ◆ 千葉県都市河川環境管理協議会。(干潟を守る会、水を守る会から)
- ◆ 有識者も、もう1～2名入れてほしい。鉄道が大事という考えの人を。
- ◆ 東横田駅から乗車してきた。ほとんどの方がこのまま存続してほしい、増便してほしいということに意見が集約されると思う。検討会議のメンバーを幅広く増員しては。
- ◆ 商工、観光業者などや、袖ヶ浦市、木更津市も正式な委員として。
- ◆ 路線バスへも赤字補助しているので、財政負担をするのも地方自治体の役目。
- ◆ 免許返納者にとっても鉄道がないと大変。国は、道路には莫大な予算を投入しているが、交通にはその40分の1。環境問題も考えて残すべき。
- ◆ 検討会議の委員は、実際に久留里線に乗ったことがあるのか。知っているのか。利用していない人が議論しても。自分は、通勤で使うようにした。
- ◆ 今回の説明者の中に久留里線を利用している人はいるのか。そうでないと、実際の利用者の声が届くのか心配である。
- ◆ 検討会議では、どういう方向性で今後の課題を解決に向けて検討されていくのか示してほしい。
- ◆ 地域の意見をどうまとめていくのか。説明会の参加者の意見をもって地域の意見とはできないのではないか。
- ◆ ワークショップ形式の議論は検討しているか。
- ◆ 住民の総意を聞く場が少ない。何も決まってないということであれば、もっと時間をかけて、様々な意見を聞いてほしい。
- ◆ 廃線ありきだと思う。検討会に守る会の人が入っていない。
- ◆ 行政は住民を守るという姿勢でいてほしい。
- ◆ なぜ、国土交通省が来ていないのか。国鉄が分割民営化をした際に、大臣はローカル線の廃止はしないと約束したはず。国交省が地域住民の意見を聞くべき。
- ◆ 千葉県は北総鉄道に財政支援をしている。袖ヶ浦市も駅舎の整備に財政支援をしている。自由通路のエレベーターの経費も市が負担している。
- ◆ 検討会が始まったキッカケというのは、去年の7月に国がローカル鉄道に関する検討会の提言を(立ち上げた)出したこと。
- ◆ 国に対して、地域路線の存続を求める要望をしてほしい。

資料2_住民説明会意見一覧（6/1 亀山、7/12 松丘、7/15 久留里）

- ◆ 存続をするための議論の場にしてほしい。
- ◆ 検討会議は廃止を前提としているものではないとのことだが、今までのJRのやり方を見ていると、廃止に突き進んでいるように見える。北海道も九州も西日本も廃線が進んでいる。
- ◆ 住民説明会を受けて、地元の話し合いの場が設けられていない。（自主的に）地区で話し合いの場を設けたらどうか。
- ◆ 検討会議には3地区の住民代表が急に呼ばれ、非公開で行われたが、どういう権限を持つのか非常に心配。不公平だと思う。もっと一般の人や守る会の人を入れた方が良いのでは。
- ◆ バスやデマンドになった場合、赤字補填しても運転手が確保できるのか。
- ◆ 電気を止めるという申し入れはあったか、その心配はしなくていいのか。